

那覇市総合計画審議会 第1回保健・福祉・医療専門部会の概要

当部会で審議する施策は、9～20の12本となっているが、欠席委員の関係で、10、11は次回に行く

9 地域のみんが、支え合うまちをつくる

- 指標で「『地域見守り隊』の結成数」を掲げているが、自治会が結成されていない地域があるため、那覇市を網羅できるのか疑問である。
- 既存の組織と未組織のエリアをどうやって埋めていくかを考えると、基本計画に、福祉の圏域として小学校区を単位とすることを位置づけるべきではないか。
- 地域づくりには、子どもからお年寄りまでの幅広い視点が必要である。
- 母子保健推進員からの情報が上にあがっていない状況がある。福祉の圏域を小さくする必要があると同時に行政の各分野の連携体制の構築が必要である。
- 地域の圏域を考えることが先ではないか。
- 自分たちの地域は自分たちで何とかしようという意識が働くことが重要であり、その圏域を小学校区として仕掛けていく必要があり、具体的に位置づける必要がある。
- 小学校区の中で「地域見守り隊」をいくつ作れるか等、専門職も入って議論していく必要があり、市全域での数だけの問題ではなく、中身が伴う必要がある。
- 母子保健推進員も基本は見守りであり、そのような組織を繋げていく必要がある。
- 地域づくりにおいて、「小学校区」を福祉の圏域として位置付けてもらいたい。
- 地域見守り隊については、数だけの議論ではなく、中身を伴った組織にする必要がある。

12 子どもの貧困対策をすすめて子ども達が夢を持って成長できるまちをつくる

- 生活保護世帯に限らず、生活保護要件に該当するにもかかわらず保護を受けていないグレーゾーンの世帯に対する取り組みを指標として図る必要もあるのではないか。
- 「子ども達が夢をもって成長できる」ことを実感できる指標を考えても良いのではないか。例えば、母子家庭では、欠食をなくすことを目的として「朝食をとる子どもの割合」などが考えられる。
- 生活保護世帯だけの問題ではなく、何らかの要因で貧困に位置づけられる子どもに対する取り組みを図る指標の設定を望む。
- 取り組みの柱の「子どもの貧困をテーマとした地域連携」においては、内閣府の補助金を活用する取り組みとなっているが、補助金終了後に取り組みを継続するものとして「新たな社会資源の創出」を掲げているが、ゴール設定の具体性に欠けるため、明確な表現に修正してもらいたい。
- 進捗を図る指標の見直してもらいたい。
- 取り組みの柱2から3へつなぐ道筋を明確にってもらいたい。

凡例 ■・・・委員の発言概要 □・・・部会でのまとめ暫定案

13 市民一人ひとりが健康づくりを実践するまちをつくる

- 喫煙対策においては、国が先行し受動喫煙を0にする方針を示している。市の既存の計画を先取りしていくような取り組みが必要ではないか。
 - 成人へのアプローチに偏っているため、次世代の健康づくりについても取り組んでもらいたい。
 - 他市町村の取り組みである「てくてく登校」など、健康づくりだけでなく、教育面にも良い取り組みを行いなは市民全体の健康につなげる必要もあるのではないか。
- 成人だけでなく、次世代の健康づくりの視点も盛り込むべきである。

14 市民一人ひとりがこころの健康を維持することができるまちをつくる

- 従来の取り組みに加え、県の施策（県では中学生向け副読本を作成している）との連携など取り組みを強化してもらいたい。これらの実施結果を指標とすることも考えられる。
 - アルコール依存症やうつ病の早期発見のため医療機関の看護師の研修機会など指標として掲げてはどうか。
 - ゲートキーパー自体が広く認知されているか疑問があるためゲートキーパーの普及啓発活動を強化する取り組みが必要である。公民館を利用したパネル展など
 - 障がいを持っている等生きづらさが社会から追い込まれ自殺に繋がる要因となるため、それらを理解するための取り組みも必要である。
- こころの健康、多様性を理解することやそれを支えるゲートキーパーの役割等の普及啓発活動の充実など取り組みの強化を望む。

15 親と子が地域の中で共につながり健やかに暮らせるまちをつくる

- 指標については、受診率だけでいいのか。健診期ごとの課題を指標として設定してはどうか。乳児期と幼児期では、課題が異なる。（発達障害、親子の関わり、貧血等）
 - 育児不安を解消できるような相談体制等を図る指標が望ましい。
 - 子育て世代包括支援センターの設置について、情報を集約する仕組みや保育所との連携に関する取り組みが必要ではないか。
 - 安心して生み育てやすい環境を構築する指標として出生率も考えられる。
 - 子育てが楽しいと答える人の割合の目標値は、あまり意味はないのではないか。
- 健診受診率よりも具体的な指標設定が望まれる。
- 子育て世代包括支援センターに関する指標の設定が望まれる。

19 衛生的で快適な生活環境を守るまちをつくる

- それぞれの指標の目標値が中間目標値よりも最終目標値が低い理由の説明が必要である。

凡例 ■・・・委員の発言概要 □・・・部会でのまとめ暫定案

20 健康危機管理体制が整ったまちをつくる

■結核に対する予防対策や啓発活動の取り組みを記述するとともに、それらの活動指標を設定した方が良い。

☆安波連委員追加意見☆健康危機管理は重要な柱と認識しているため、もっと具体的な指標が必要かと思えます。那覇市保健所の方針等との整合を図ってもう少し議論が必要かと思いました。